



2015年7月21日

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

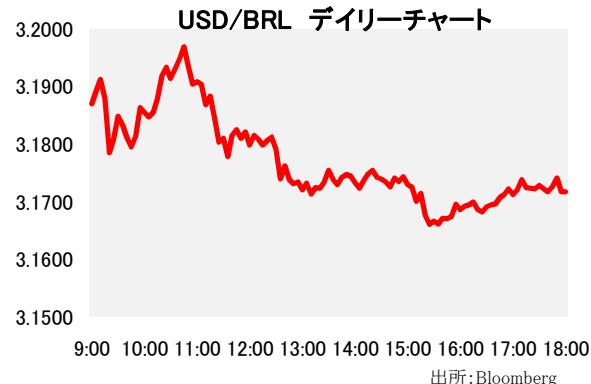
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			7月15日	7月16日	7月17日	7月20日	7月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1400	3.1560	3.1880	3.1960	3.1710	-0.0250
	BRL/JPY	Spot	39.42	39.33	38.91	38.87	39.05	+0.18
	EUR/USD	Spot	1.0949	1.0877	1.0830	1.0823	1.0939	+0.0116
	USD/JPY	Spot	123.77	124.14	124.09	124.31	123.85	-0.46
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.040	14.037	14.018	13.960	13.970	+0.010
	Future	1Year(p.a.)	13.911	13.914	13.882	13.758	13.772	+0.014
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.372	1.416	1.480	1.500	1.485	-0.015
	USD	1Year(p.a.)	1.920	1.923	1.992	2.037	2.026	-0.011
株式	Bovespa指数		52,902	53,070	52,342	51,600	51,474	-126
CDS	CDS Brazil 5y		260.55	258.46	264.47	271.68	265.73	-5.95
商品	CRB指数		216.623	215.554	214.542	211.844	212.005	+0.16

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデikーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要經濟指標



3.要人コメント

レビィ伯財務相	ブラジルの歳入増加策は失敗している。必要であれば新たな予算削減が必要。
---------	-------------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.1980で寄り付いた。上海株をはじめアジア株が堅調に推移したことを見て、レアルは3.17台後半まで買われたが、ボベスパ指数が寄り付きから軟調推移すると、本日の安値となる3.2000まで反落した。その後は経済指標の発表などが無い中、来週のFOMCを前にポジションを縮小する動きでドル売りが出て、レアルは反発した。ドルが対主要通貨で直近1ヶ月で最大の下げとなる中、中銀公表レート発表に向けて大きなインフローがあった模様で、レアルは高値となる3.16400までジリ高の展開となった。引けにかけては小反落し、結局3.1710でクローズした。
 - 政局不安から財政改革の後退と格下げへの警戒感が高まっており、ボベスパ指数は3日続落した。レヴィ財務相が歳入増加が計画通りに進んでおらず、新たな歳出削減策が必要かも知れないと述べたことに加え、昨日伯中銀のボルボン理事がインフレ見通しが目標に到達するまで利上げを続けるべきと主張したことも引き続き意識された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の価値を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、完全性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますが、宜しくお問い合わせ下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を示すものではありません。当資料の内容は告白なしに変更することがあります。当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客へは一切投資家の配布を禁じます。